



長丘、平岡、科野、倭の北部4小学校の3年生児童が参加する交流授業が、平岡小学校で開催されました。初めは緊張のため表情も硬かった子供たち。自分が住む地域を発表する授業や、校舎の案内、「だるまさんがころんだ」などのレクリエーションを通し、次第に緊張もほぐれた様子。授業終了後には「また会おうね」と約束を交わす姿も見られ、2年先の統合後の楽しみも増えたようでした。



### 「高社小学校」に向け 4校合同授業

INTERVIEW



科野小学校  
たなか かずなり  
田中 一成 先生

まずは自分が住む地域を知ってほしい。児童から「発表に出ていたあの場所に行ってみよう！」という声が出て嬉しかったです。



### 7/18 思いやりの心で投げよう キャッチボールクラシック

8月25日に明治神宮球場で行われる「信州なかのナイター」。選手と一緒に入場するエスコートキッズを選抜するキャッチボール大会が開催されました。「2分間に実施したキャッチボールの回数」で順位を決定するこの競技。技術はもちろん、仲間が取りやすいところに投げる思いやりの心も試されます。会場では「ドンマイ」「慌てるな」といった声が聞こえ、ゲームは白熱の展開を見せていました。



### 7/18 高丘保育園園児が体験 ブドウ袋掛け体験

高丘保育園の園児26人が東山地区の畑を訪れ、ブドウの袋掛け体験をしました。この体験は、ブドウ作りの作業を通して、楽しみながら地産農産物への理解を深めてもらうためにJA中野市と同ぶどう部会が企画。園児たちは、部会の人たちによる「なぜ袋を掛けるのか」などの勉強会をした後、大人たちの手を借りながら自分たちで描いたオリジナルの袋をブドウに掛け、秋の収穫を楽しみに園地を後にしました。



7/14  
/15 信州中野の夏の風物詩  
**中野祇園祭**

大勢の皆さんに見ていただいて、とても緊張。時代背景が違うので、言葉の使い方が難しく、気を使いました。

黒姫役を演じた  
つちやまふうか  
土屋 風夏さん



伝統行事「中野祇園祭」が2日間にわたり開催され、猛暑の中、みこしがにぎやかにまちを練り歩きました。陣屋前広場では「松川の川崎踊り」も披露。その後の朗読劇「黒姫物語」では、観衆が息を飲んで物語の行方を見守っていました。  
2日目にはそれぞれの地区から選ばれた子どもが若殿様に扮して馬に乗る「馬乗り行事」が開催され、戦国の風情を今に伝えていました。



6/28 にぎわい再生へ  
**中心市街地に宿泊施設を誘致する協定**

市とルートイングループは、中心市街地に宿泊施設を誘致する基本協定の締結を行いました。  
市では、「中野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる具体的施策を推進するにあたり、市街地への宿泊施設の誘致を進めてきました。  
本協定は「にぎわいと活力あふれるまちづくり」を目指すもので、官と民がしっかり手をつなぎ、一体で取り組むことにより中心市街地のにぎわい再生に資する協定としています。



7/17 信州に笑顔を!  
**ハッピーカムカムフェス**

信州Gプロジェクトが開催した「第2回ハッピーカムカムフェス」。中野市民体育館を会場に各種イベントが行われたほか、中野市、山ノ内町管内の郵便局が集めた食べ物や子ども服などがシングルファミリー支援「ハートフルバンク」や「信州こども食堂」に寄付されました。観客も一緒に参加できるプロレスマッチでは、子供たちが悪役レスラーを抑え込んだりと、会場内は笑顔と歓声に包まれ、にぎやかな一日となりました。